

(素案)からの修正点について

資料4

ページ	章・みだし	前回こどもまんなか会議での素案表記	こどもまんなか会議とパブコメをふまえた修正 (今回の計画案での表記)
表紙		(仮称)和泉市こども計画(素案)	(仮称)和泉市こどもまんなか計画(案)
第1章 計画の策定にあたって			
P1 11行	1 計画の背景と趣旨	(記載なし)	【パブコメ意見(1番)を踏まえて追記】
第2章 こどもと子育て家庭を取り巻く現況と課題			
P6	③出生数・出生率の推移	(記載なし)	令和5年度実績を追加
P16	⑨和泉市立学校における不登校児童生徒数の推移	「⑨和泉市立学校における不登校児童の推移」ほか	【パブコメ意見を踏まえ、グラフの体裁・みだしを修正・説明文を追記】 「⑨和泉市立学校における不登校児童生徒数の推移」ほか
P23	1.こども計画策定にあたっての実態把握の方法 【ワークショップ】こどもワークショップ 計画の該当部分	3カ所	実施した内容を踏まえて「計画の該当部分」を3カ所修正
P24	【若者ワークショップ】	令和6年12月 大学生(桃山学院大学)	実績を踏まえて若者ワークショップのテーマではなかったため削除(内容が「若者への支援」ではなく、「こどもの居場所」となったため)
P54～ P60	3.子どもの生活に関する実態調査	(全体)	ですます調に書きぶりを修正。
P61	4.こども・若者、地域住民、支援者・担い手からの聴き取り(ワークショップ)	(記載なし)	【12月実施のワークショップの実績について追記】
P64	④和泉市に伝えたいことについて(中学生の意見まとめ)	(記載なし)	【12月実施のワークショップの内容を追記】
P65	⑤余暇の過ごし方について(配慮が必要なこども(高校生)の意見まとめ)	(記載なし)	【12月実施のワークショップの内容を追記】
P66	⑥こどもの居場所について(大学生の意見まとめ)	(記載なし)	【12月実施のワークショップの内容を追記】
p71	地域共生ワークショップ 実施概要	参加者数240人	【12月以降の実施実績を反映】 参加者260人 実施日の追加:1月19日、3月2日
P74	5. 支援の課題 課題1 こどもの権利	(記載なし)	(現状)に12月実施こどもワークショップの実績から追記
P75	5. 支援の課題 課題2 こどもがこどもらしく～	(記載なし)	「課題2」の(現状)に12月実施こどもワークショップの実績から追記

ページ	章・みだし	前回こどもまんなか会議での素案表記	こどもまんなか会議とパブコメをふまえた修正 (今回の計画案での表記)
P77	5. 支援の課題 課題2 困難な状況にあるこどもや～	(記載なし)	「課題3」の(現状)に12月実施こどもワークショップの実績から追記
第3章 こども計画の基本的考え			
P83以降	2 めざす和泉市の姿(基本理念)と基本方針 【成果目標と指標について】	<ul style="list-style-type: none"> ・全体アウトカム ・分野別アウトカム ・初期アウトカム ・ロジックモデル ・アクションプラン 	<p>【カタカナ語が多くてわかりにくいとの意見があり、頻繁に出てくる用語「アウトカム」「ロジックモデル」等を日本語表現に改める。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトカム→成果目標 ・全体アウトカム→最終成果目標 ・分野別アウトカム→分野別成果目標 ・初期アウトカム→施策別成果目標 ・ロジックモデル→こどもまんなかの和泉市実現マップ ・アクションプラン→行動計画
P84	【課題に対する基本方針と分野別成果目標】 (基本方針2)	こども食堂や学習支援など「地域の居場所」を利用しているこどもの増加	<p>【成果目標に評価指標が混在している等の状況を整理するため、成果目標の表現を「～になっている」状態像(数字ではなく、めざす姿)を表す表現に修正】</p> <p>こどもが、こども食堂や学習支援など「地域の居場所」を利用している</p>
P85	【課題に対する基本方針と分野別成果目標】 (基本方針3)	教育と福祉の連携により発見し、支援につながった児童生徒数の増加	<p>【成果目標に評価指標が混在している等の状況を整理するため、成果目標の表現を「～になっている」状態像(数字ではなく、めざす姿)を表す表現に修正】</p> <p>支援が必要な児童生徒が、教育と福祉の連携により発見され、支援につながる</p>
P89	4 施策体系と「こどもまんなかの和泉市実現マップ」	「第4章 施策体系とロジックモデル」	<p>【第4章としていたのを第3章の4とし、文章全体をわかりやすいよう整理。以降章番号を繰り下げ。】</p> <p>「4 施策体系と「こどもまんなかの和泉市実現マップ」」に修正</p> <p>第5章 施策事業の推進 → 第4章 施策事業の推進 第6章 こども・子育て支援計画 量見込み及び確保方策 → 第5章 子ども・子育て支援事業計画等における量見込みと確保方策 第7章 計画の推進体制・進行管理 → 第6章 計画の推進体制・進行管理</p>

ページ	章・みだし	前回こどもまんなか会議での素案表記	こどもまんなか会議とパブコメをふまえた修正 (今回の計画案での表記)
第4章 施策事業の推進			
【施策別成果目標の書きぶりを修正】 成果目標に評価指標が混在している等の状況を整理するため、施策別成果目標の表現を「～になっている」状態像(数字ではなく、めざす姿)を表す表現に修正しました。(P91～P115)			
P91	1.こどもの権利、こどもの意見尊重の意識の醸成	こどもの権利(条約)の認知度の向上	こどもが権利の主体であることが認知されている
P92	2.こどもに関わる人が多い大人によるこどもの意見尊重の実践	こどもの意見を聞き、尊重している保護者の増加	保護者が子どもの意見を聴き、尊重している
P94	1.身近な場所で「こどもの居場所」	こどもが自由に参加できる地域の居場所がある小学校区数の増加	各小学校区に、こどもが自由に参加できる地域の居場所がある
P95	2.官民様々な担い手による遊びや体験の保障	放課後子ども教室の数の増加	放課後子ども教室が、各小学校区にある
P97	1.教育と福祉による予防的支援: ヤングケアラー・不登校	①伴走型支援につながったヤングケアラーの割合の増加 ②不登校の児童生徒数の減少	①ヤングケアラーが、伴走型支援につながる ②不登校の児童生徒が減る
P101	3.ひとり親世帯への支援の充実	ひとり親の就職件数の向上	就労することにより、ひとり親家庭の生活が安定に向かう
P102	4.その他配慮が必要なこどもへの支援:障がい児・自殺対策・その他	生活に満足している障がい児の割合の向上	障がい児が、日常の生活に満足している
P104	1.母親に子育ての負荷が偏らない、こども・子育て支援事業の充足	子育てのほとんど担っている母親の割合の低下	母親に子育ての負荷が偏っていない
P105	2.妊娠期から子育てを支える相談支援体制	「この地域で子育てをしたいと思う」親の割合の増加	子育て世帯が、この地域で子育てをしたいと思っている
P106	3.DX推進によるアクセスしやすく、利用しやすい子育て支援サービス	子育てに関する行政手続きに来庁する市民の減少	DX推進により、市民が来庁せずに子育てに関する行政手続きができる
P113	1.出産期から幼児期～就学前保育・教育の充実 切れ目ない保健・医療～	妊娠・出産について満足している母親の増加	産婦が自身の妊娠・出産について満足している
P115	2.学童から思春期～学校教育～	学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の増加	児童生徒が学校生活を楽しいと思っている
P91	1. こどもの権利、こどもの意見尊重の意識の醸成 施策1-②こどもへの権利に係る情報提供・啓発	○ こども基本法の趣旨や内容について～(略)【学校教育室】	○ こども基本法の趣旨や内容について～(略)【学校教育室、子育て支援室】
P95	2.官民様々な担い手による遊びや体験の保障 評価指標(期初)	12校区	13校区

ページ	章・みだし	前回こどもまんなか会議での素案表記	こどもまんなか会議とパブコメをふまえた修正 (今回の計画案での表記)
P98	1. 教育と福祉による予防的支援: ヤングケアラー・不登校 評価指標(期末)	中学生100人	中学生115人 注:(不登校児童生徒について) 評価指標の期末の数値を変更 中学生:100人⇒115人 (小学生は変更なし) 「評価指標」新規不登校児童生徒数の期末数値について 近年の和泉市の新規不登校児童生徒数の増減をもとに再度見直したところ、 毎年5%減を目標とすることが妥当と判断したため、5年後の期末数値を中学生は115人に修正したもの。
P102 12行	4. その他配慮が必要なこどもへの支援:障がい児・自殺対策・その他	(記載なし)	発達段階に応じた保育・療育・教育等の内容の充実について追記
P103	4.その他配慮が必要なこどもへの支援:障がい児・自殺対策・その他 施策4-③	【生涯学習推進室、子育て支援室、学校教育室、こども未来室、健康づくり推進室】	生涯学習推進室を削除
P104	1. 母親に子育ての負担が偏らない、こども・子育て支援事業の充足 評価指標	(記載なし)	評価指標「男女が協力して家事・育児をしている人の割合(乳幼児健康診査時アンケート)【健康づくり推進室】」を追加
P107	1. ひきこもり等の困難を抱える若者の相談窓口・支援 評価指標	ひきこもり相談者数(年度)【くらしサポート課】 期初:167人、期末:170人	ひきこもり新規相談者数(計画期間の累計)【くらしサポート課】 期初:72人(令和5年度)、期末:390人(500人*) *令和7年度から令和11年度までの累計
P116	2. 学童から思春期～学校教育～ 評価指標	期初:参考地90%(2学期に把握予定)	期初:小学校:95%、中学校:90%(令和5年度) R6は代替え給食のため評価困難のため
第5章 子ども・子育て支援事業計画等における量見込みと確保方策			
P117	1 就学前教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供区域の設定	第6章 子ども・子育て支援計画 量見込み及び確保方策	【法律上は「子ども」となっているため、タイトルを修正】 第5章 子ども・子育て支援事業計画等における量見込みと確保方策
P117	(同上)	1 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業～	【正確を期すため、教育を就学前教育に修正】 1 就学前教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業～
P117	(同上)	(記載なし)	新規事業について提供区域を設定
P120	2 将来のこども人口	(記載なし)	人口推計の算出方法についてページ下部に追記

ページ	章・みだし	前回こどもまんなか会議での素案表記	こどもまんなか会議とパブコメをふまえた修正 (今回の計画案での表記)
P131	⑧ 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)対象	「65歳くらいまでの心身とも健康な人」	削除
P139	7 子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保	(記載なし)	国の基本指針に基づき追記
第6章 計画の推進体制・進行管理			
P141	2 計画の進行管理	(記載なし)	資料編の行動計画の説明とイメージ図を追記
P143 14行	3 こどもの意見聴取	(記載なし)	こどもへのアンケートなどの実施について追記
P144	4 次期計画において留意すべき検討事項	(記載なし)	【策定のまとめとして追記】
資料編			
P146	1 行動計画	(記載なし)	【進捗管理用資料として追記】
P156	2 ワークショップ等での意見へのフィードバック資料	(記載なし)	【参考資料として追記】
P160	3 計画の策定経過	(記載なし)	【参考資料として追記】
P161	4 和泉市こどもまんなか会議委員名簿	(記載なし)	【参考資料として追記】
P162	5 和泉市こどもまんなか会議条例	(記載なし)	【参考資料として追記】
P166	6 用語の説明	(記載なし)	【参考資料として追記】